

医療機器等 4 か年整備計画 (令和8年度～11年度)

令和8年5月
日野市立病院

1. 本計画策定の目的

現病院の開院から 23 年が経過し、多くの医療機器等が耐用年数を超過、老朽化による故障が頻出しており、更新の必要に迫られています。また、技術の進歩による機器の機能向上も著しく、医療水準の維持・向上のために新たな機器の導入も求められています。

毎年修理不能な故障発生により、緊急の更新が必要となる機器があり、その都度対応していますが、特に高額な医療機器等の更新となると、厳しい経営状況の中では限界があります。

そのため、総務省の新公立病院改革ガイドライン等の主旨を踏まえ、専門的な知識やノウハウを有するコンサルタント会社の支援を受け、各部門の現有機器調査及び職員からのヒアリング等を実施し、今後 4 年間で真に必要な医療機器等の購入を円滑に実施するため、整備計画を策定しました。

2. 基本的な考え方

- (1) 本整備計画は令和 8～11 年度の 4 か年とする。
- (2) 計画予算は 単年 1.5 億円×4 か年 = 6 億円(税込)
- (3) 調達金額が税込 100 万円以上の全医療機器
(なお、什器・家具や情報システムに関連するものは対象外とする)
- (4) 申請方法(以下の書類を総務課宛に提出)
 - ①様式 1 「医療機器等取得要望申請書(令和 8 年度～11 年度取得希望分)」
 - ②見積書
 - ③カタログ等
- (5) 選定方法
 - ①各部門からの要望機器(新規・増設・更新)をコンサルタントが専門的な見地から一次精査を行い、4 か年の中で整備が必要と思われる機器に絞り込む。
 - ②それらの機器を「医療機器等の購入を評価する会」により、書面及び各部門担当者からのプレゼンテーション等を基に、当該委員が評価し購入機器を決定。

3. 計画策定に向けた年間スケジュール

[illegible]

4. 要望件数

申請件数 86件（合計 1,254,512,402円）

5. 評価結果

4 か年年度別調達計画は以下の通り

（税込 円）

	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
歯科機械室機器	6,376,227			
超音波気管支ファイバースコープ	5,882,580			
ベッドサイドモニタ	3,960,000	1,980,000	1,980,000	1,980,000
血管撮影装置		265,100,000		
ポリグラフ		20,900,000		
血液培養自動分析装置			15,290,000	
無影灯			5,500,000	
微生物由来成分分析装置				3,245,000
洗浄履歴管理システム				1,980,000
	16,218,807	287,980,000	22,770,000	7,205,000

※上記以外について新規・増設は見送り。更新機器については故障時に再検討する事とする。